

夏秋どりいちごの安定生産 ～新規参入者の栽培技術支援～

(課題番号 6)

- ◆活動年次：令和5年度
- ◆対象：浦河町・様似町 就農5年未満の新規参入者（5戸）
- ◆目標事項：新規参入者の栽培技術向上
- ◆到達度合：目標収量達成戸数4戸中1戸（到達度合25%）

1 課題の背景

新規就農1～3年目は栽培経験が少なく、経営も不安定である。新規参入者の収量向上を目的に栽培技術習得の支援を行い、経営の安定化を図る。

2 活動の経過

- 毎月1回、栽培のポイントをまとめた技術情報をJAコネクで発信。
- 戸別巡回による基本栽培技術習得の支援や、要請対応を実施。
- 新規参入者より要望のあった試験や調査を実施し、研修会で報告。

時期	方法	回数	主な内容
4月～11月	個別巡回	延べ24回	基本栽培技術、病虫害対策、肥培管理
4月～11月	技術情報発信(JAコネ)	8回	気象、病虫害防除、肥培管理
12月、2月	栽培講習会	2回	生育状況、病虫害防除、調査結果
4月～11月	各種資材の試験調査	延べ16回	紫外線の防除効果確認、生物農薬の防除効果確認



写真1 戸別巡回による栽培の助言

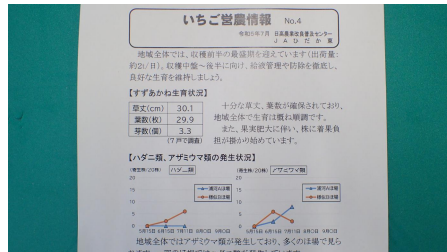


写真2 時期ごとの栽培ポイントを発信



写真3 栽培講習会の様子

3 活動の成果

- ハダニ類、アザミウマ類の発生状況に応じた防除の実施。
- 生育の時期に応じて給液量やEC濃度を調整。
- 葉数展開に応じた摘葉の実施、着花負担に応じた花房整理を実施。

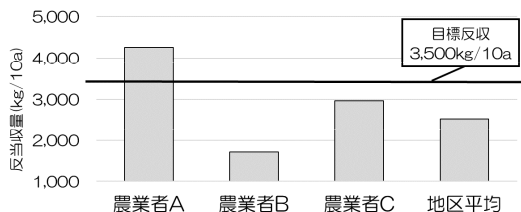
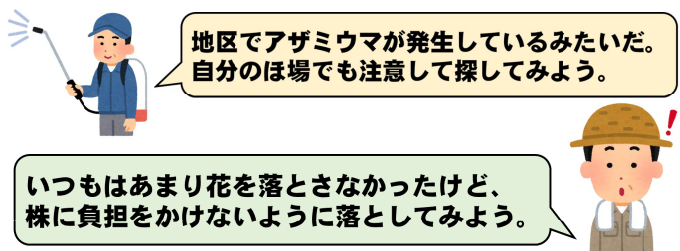


図1 新規参入者の10a当たり収量



令和5年は7月～8月の記録的な高温により、地区全体で収穫量が大きく減少してしまった。今後は、暑熱対策によるハウス内気温の低下が重要であることが理解された。

4 今後の対応

地域の新規参入者の収量安定化に向け活動する。